１月２７日発行

南　中　だ　よ　り

平成 28 年度
第２４号
伊丹市立南中学校

1年生職業講話を開催

１月１９日（木）５時間目に来年度のトライやる・ウィークに向けての事前学習の一環として職業講話を開催しました。今回は、伊丹警察署の警察官、南幼稚園の先生、住友電工の社員さんからお話を伺いました。

今回は、職業講話を聞いての感想文を紹介します。

１年３組　　Ｔ・Ａ

今日の職業講話を聞いて、まず最初に思ったことは私たち子どもの見ている、感じている、働く大人たちの職場の世界と、実際の仕事は、やっぱり違うんだなということです。幼稚園の先生も言っていたように大変なこともあるし、見えないところで頑張らないといけないということを知りました。私はトライやる・ウィークで住友電工に行きたいと思っているので 、その仕事内容などを知れてよかったです。将来なりたい仕事につけるかどうかわからないけど、今日講話に来てくれた人たちはみんな自分の仕事が好きであるように見えました。なので、私もどんな仕事についても、その仕事を頑張って好きになれたらいいなと思いました。

１年４組　　Ｉ・Ｎ

私は今回３人の講師の方の話を聞いて、どの仕事も自分のこと以上に人のことを考えて働いているからこそ成り立っているんだなということが伝わってきました。特に私は将来教育に関わる仕事をしたいと思っていたので、人のことや人の気持ちを分かって行動したり友達と接することを日々心がけて生活したいなと思いました。でも、自分のことをしっかりとしていないと人のことに気を遣うのは難しいと思うので、まずは自分のことを完璧にやって＋α人のことも考えられるようにしていきたいです。（もちろん将来的には人のことを自分以上に考えられるようになりたいけど）自分がお金を稼ぐだけでなく、社会の役に立つのは大変なことだけど、それを当たり前に思えるような大人になりたいです。そのために今から友達や家族など身近な人から大切に思っていきたいです。

１年６組　　Ｔ・Ｍ

住友電工の方のお話で、住友電工の歴史や仕事内容なども教えていただき、真剣に仕事に打ち込まないとと思いました。どの職業に就いたとしても、プロ意識を持って働きたいと思います。南幼稚園の先生のお話は、私も「子どもが好きだったら遊んでいるだけで楽しいのかな」と思っていたことがあったので園児の命を預かっているという言葉に「責任重大の大変な仕事なんだな」と気づかされました。道徳の授業で「恥ずかしい仕事はない」ということを学びましたが、同じように「楽な仕事」もないと思います。母が帰ってきてから話している話でも、前に働いていたところも今のところも大変だというようなことを言っていました。どの仕事でもそれは変わらないと感じています。警察の方のお話で、以前交番にいた警察官の方に優しく接していただいたことを思い出しました。「市民の安心・安全のために」という責任感・使命感は、形は違えどすべての職業につながっていると思います。今はまだ決まらなくてもしっかり真面目に将来働きたいと思います。

伊丹市中学校理科自由研究発表会開催

１月２１日（土）午前１０時より、伊丹市立総合教育センターにて、平成２８年度伊丹市中学校理科自由研究発表会が行われました。市内８中学校の代表生徒が、昨年の９月に行われた理科自由研究作品展の受賞作品の発表をしました。本校からも、９月の自由研究作品展で最優秀賞を受賞した２年１組Ｋ・Ｆさんが代表として、『～人のために生きる蚕～幼虫の生態観察と繭の繰糸に挑戦』というテーマの作品を発表しました。Ｋさんの研究内容のコメントは、「小学校６年生のときに飼った蚕をもっと調べてみたいと思い、前回よりアップして繰糸に挑戦しました。飼っているうちに愛着がわき、かわいいと思えるようになり、１匹脱走した子も繭の状態で無事見つかりました。」とのことでした。なお、兵庫県立人と自然の博物館主任研究員の高橋先生よりこの研究に対して「ひとはく賞」を受賞しました。

:部活動等の大会結果:

＊伊丹市中学校冬季大会

男子バスケットボール部　　第３位

＊第６８回兵庫県幼・小・中造形教育展

入選

３年１組　Ｈ・Ｋ	３年３組　Ｓ・Ｅ
３年３組　Ｎ・Ｎ	３年４組　Ｙ・Ｋ
３年６組　Ａ・Ｗ	２年１組　Ｓ・Ｔ
２年１組　Ｎ・Ｈ	２年３組　Ｉ・Ｓ
２年４組　Ｎ・Ｔ	２年４組　Ｓ・Ｍ
２年４組　Ｋ・Ｍ	２年５組　Ａ・Ｍ
２年５組　Ｍ・Ｍ	２年６組　Ｈ・Ｎ
１年１組　Ｏ・Ａ	１年１組　Ｎ・Ｎ
１年２組　Ｔ・Ｋ	１年３組　Ｉ・Ａ
１年４組　Ｍ・Ｔ	１年６組　Ｈ・Ｋ